

Prored Partners

株式会社プロレド・パートナーズ
東京証券取引所プライム市場（証券コード：7034）

2024年10月期 第2四半期決算 説明資料

thinkOut

2024.6

1. 2024年10月期 第2四半期決算概要	P3
2. Appendix	
ブルパス・キャピタルの進捗状況	P12
参考資料	P15

1. 2024年10月期 第2四半期決算概要

業績ハイライト

1. プロレド単体

- 売上高
 - ✓ 成果報酬型コンサル：上期偏重の計画としており、予定どおり進捗
 - ✓ 固定報酬型コンサル：3月決算企業の需要取り込み（季節性）により、予定以上の進捗
- 利益
 - ✓ 営業利益：売上高が上期偏重になっていること、採用費の発生が下期へと期ズレしていることを背景に黒字化
 - ✓ 経常利益：当社グループが出資している投資事業有限責任組合（ドルフィン1号およびインフレクションⅡ号SP）の運用の結果、投資事業組合運用益を計上

2. グループ会社

- ナレッジ：官公庁へのコンサル提供を鑑み上期偏重の計画としており、予定どおり進捗
- ブルパス：投資案件の株式譲渡を実行し、投資事業組合運用益を計上

連結売上高

1,794 百万円

(前年同期比 +31.8%)

連結営業利益

270 百万円

(前年同期 -98百万円)

(親会社株主に帰属する)純利益

481 百万円

(前年同期比 -46.7%)

業績概要

(単位：百万円)	連結累計			
	2023年10月期 2Q 実績	2023年10月期 実績	2024年10月期 2Q 実績	対前年同期比 増減率 (%)
売上高	1,361	2,715	1,794	31.8%
売上原価	920	1,952	977	6.2%
人件費	531	1,147	571	7.4%
その他	388	804	406	4.5%
売上総利益	440	763	817	85.3%
粗利率	32.4%	28.1%	45.5%	
販売費及び一般管理費	539	1,135	546	1.2%
人件費	252	507	193	-23.5%
その他	286	627	352	23.1%
営業利益	-98	-372	270	—
営業利益率	-7.2%	-13.7%	15.1%	
経常利益	4,746	4,378	1,662	-65.0%
(親会社株主に帰属する)純利益	902	818	481	-46.7%

2024年10月期通期業績進捗

- プロレド：
成果報酬型コンサルは予定どおり進捗、固定報酬型コンサルは季節性により予定以上の進捗。また、採用費の下期への期ズレも発生。結果として、売上高1,459百万円、営業利益167百万円にて着地
- ナレッジ：
官公庁へのコンサル提供を含め予定どおり進捗。結果として、売上高334百万円、営業利益124百万円にて着地

2024年10月期 通期業績進捗

(単位：百万円)	2024年10月期 予想	2024年10月期 2Q 実績	進捗率 (%)
売上高	2,546	1,794	70.5
営業利益	-917	270	—

- 業績数値について
 - ✓ のれん償却やブルパスに係る販管費が一部計上されているため、プロレドとナレッジの合算数値とは差異があります
 - ✓ 経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、当社グループが出資している投資事業有限責任組合の運用による損益の発生時期および金額の合理的な予測が困難であることを踏まえ、予想は非開示としております
- IR方針について
 - ✓ 当社ではファンド運営に支障が出ないようブルパスに関する情報開示は、法定開示のみとしております
 - ✓ 当社では四半期開示制度の見直しに関する動向を踏まえ、決算説明資料開示および決算説明会開催を半期毎に変更しております

プロレド単体 | 2024年10月期通期業績進捗

- 成果報酬型コンサル：
インフレ進行による影響は織り込み済みであり、予定どおり進捗。下期は進行中案件に取り組みつつ、来期に向けた営業活動を推進
- 固定報酬型コンサル：
特にストラテジー&ハンズオン事業が堅調に推移し、顧客企業の決算時期に伴う需要増加により、当初の予想を上回る業績を達成。一方でこの季節性の影響により、下期業績については一時的に減速する予測。下期は進行中案件の継続契約を目論みつつ、新規案件の営業活動を推進
- SaaS：
プロサインCREは61社にて課金中（2024年10月期2Q時点）。機能拡充は順調であるが、価格改定をしたことにより受注までのリードタイムが長期化

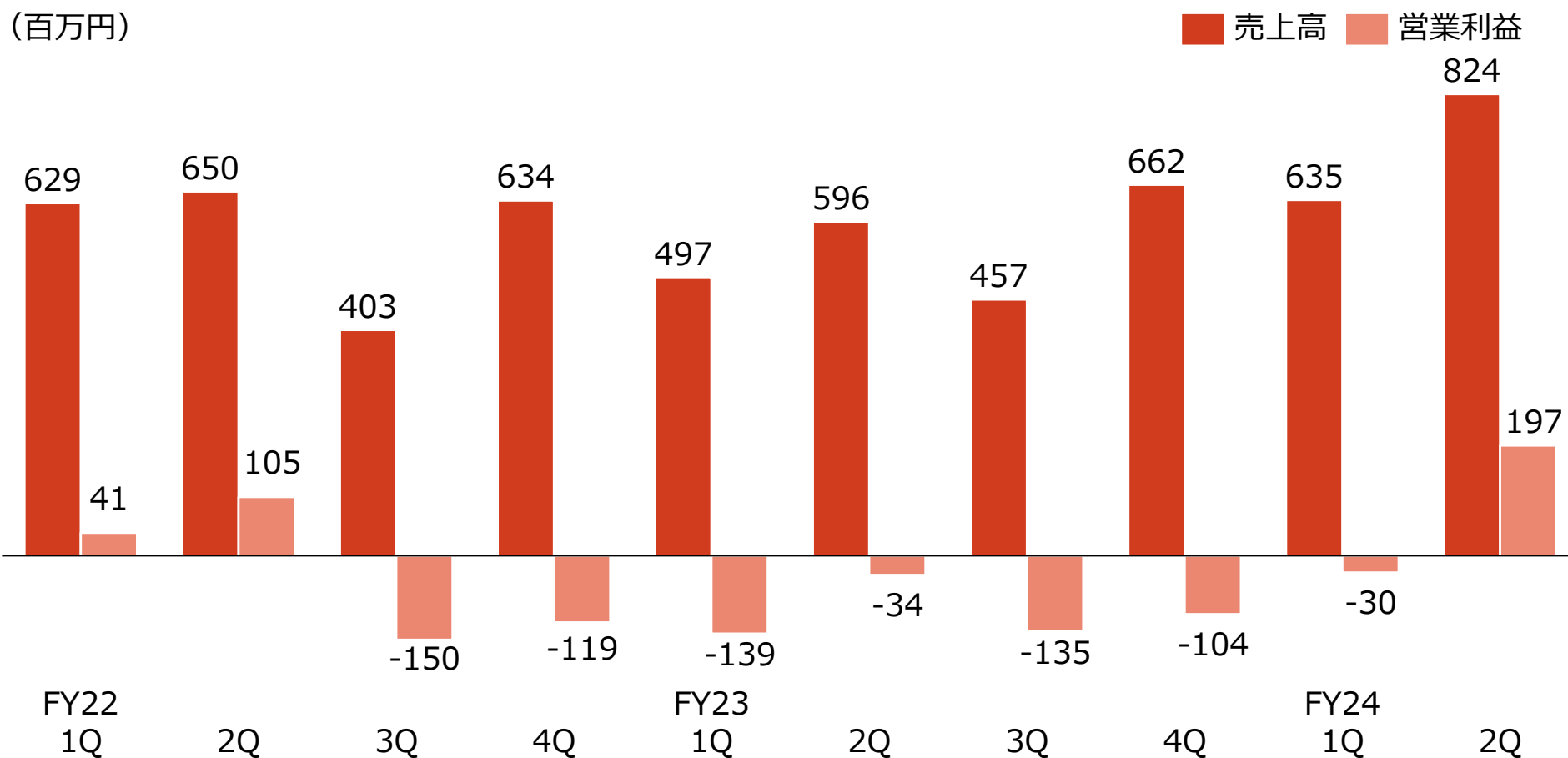
なお、上記より通期業績予想に対しては予定どおり進捗するものと考え、予想は据え置きといたします

2024年10月期 通期業績進捗（単体）

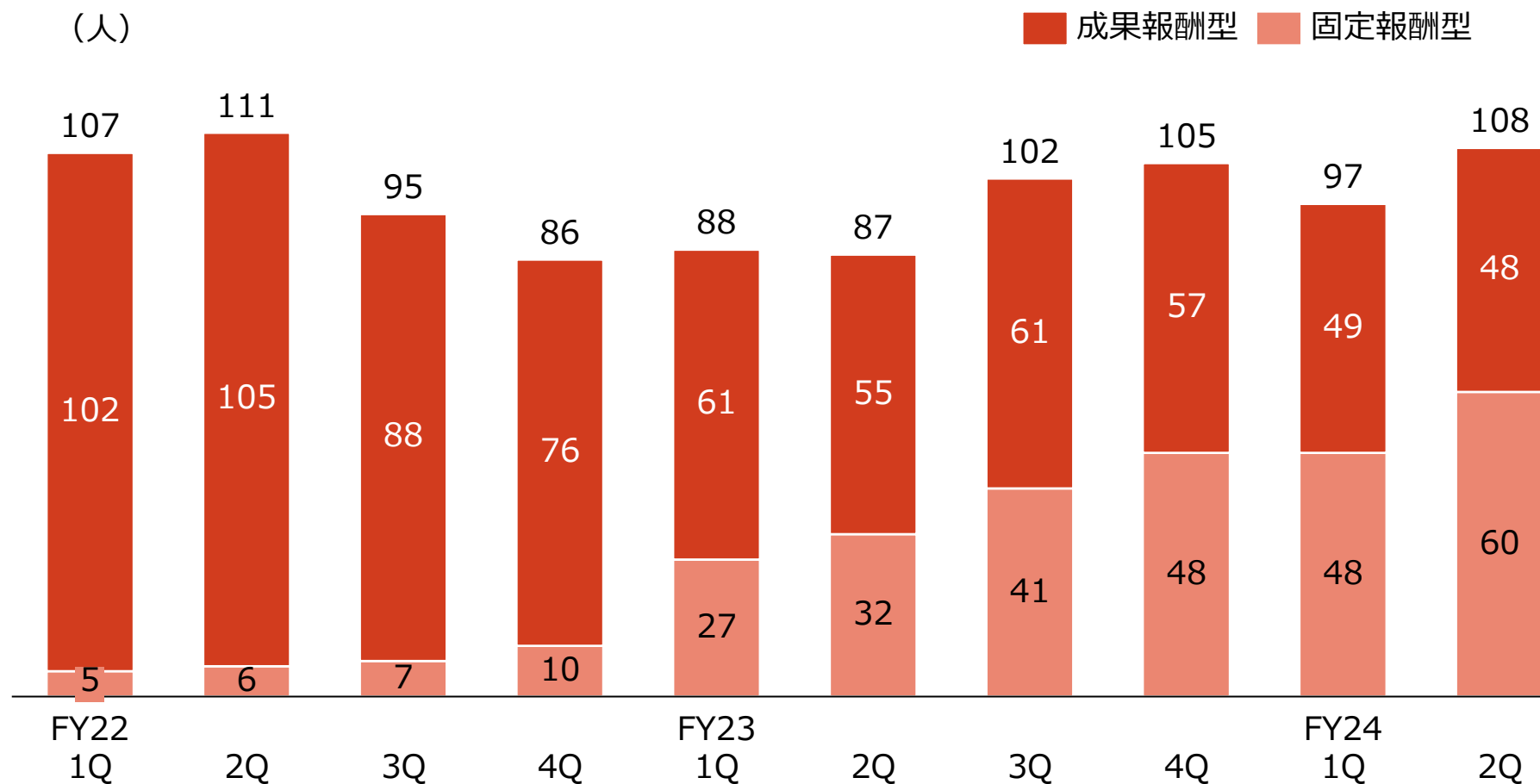
(単位：百万円)	2024年10月期 通期業績進捗（単体）		
	2024年10月期 予想	2024年10月期 2Q 実績	進捗率 (%)
成果報酬型コンサル	1,096	773	70.6
固定報酬型コンサル	869	676	77.9
SaaS	70	8	12.8
合計	2,035	1,459	71.7

プロレド単体 | 売上高 営業利益 四半期推移

(百万円)



プロレド単体 | コンサルタント人数 四半期推移



*各四半期末時点の在籍人数

プロレド単体 | サービスライン

- 徹底的な現場主義に基づき、コストマネジメントを中心とした幅広いテーマで実行支援サービスを提供

コンサルティング

SaaS

テーマ

プロジェクト例

成果報酬

コストマネジメント



間接材・物流コストの削減

コストマネジメント

調達組織立ち上げに伴うルール/ツール整備
サプライチェーン最適化戦略立案/実行支援
バックオフィス業務BPR支援

売上拡大

新規事業開発支援
リード獲得/受注率向上支援

M&A/DD/PMI

ビジネス/財務デューデリジェンス
経営人材（CXO）派遣によるハンズオン支援

DX推進

システム導入支援
PMOによるプロジェクト実行支援

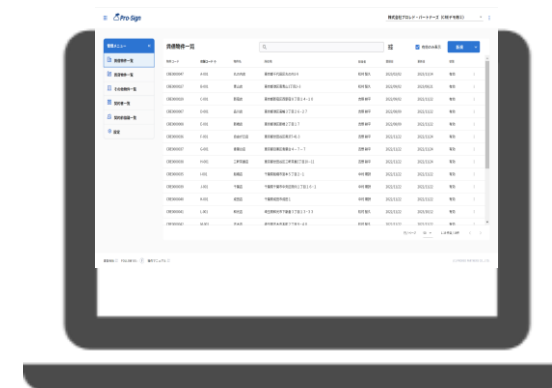
人財育成

生成AIを活用したKei-Gan（慧眼）による
実践的な幹部候補人財育成

脱炭素化



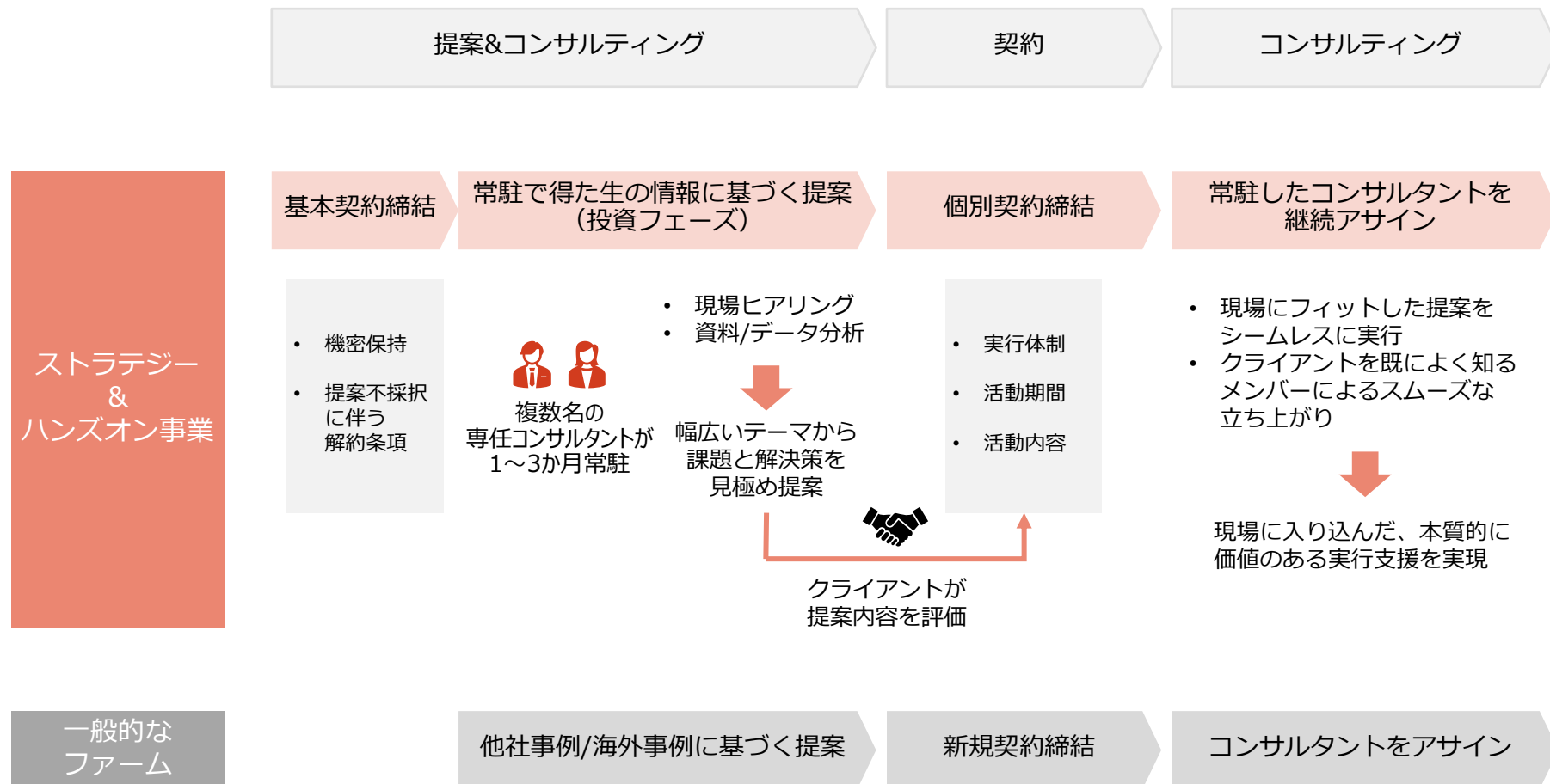
脱炭素化戦略立案/実行支援

 CRE（店舗情報管理）

固定報酬

プロレド単体 | 固定報酬型コンサルの新たなモデル

- 「価値＝対価」を体現するべく、ストラテジー&ハンズオン事業と称して、有償契約の前に「投資フェーズ」を設ける新たなモデルを確立



2. Appendix : ブルパス・キャピタルの進捗状況

2. Appendix : ブルパス・キャピタルの進捗状況

ポートフォリオ



- ・国内25店舗で猫カフェを運営、海外観光客含めて幅広い顧客層のニーズに応えており、国内猫カフェ業界におけるニッチトップ企業である
- ・猫カフェは日本のカルチャーとして外国人観光客からの人気も高く、国内外の顧客を巻き込みながら市場は成長傾向にあり、今後もインバウンドの増加等により当該傾向は継続すると想定される



- ・高六商事は、着色/コンパウンド樹脂を生産するメーカー機能や独自の技術開発機能を強みに、プラスチックの専門商社として国内トップクラスの売上高を誇る



- ・タカプラリサイクルは、廃材の回収から再資源化、物質改良や高機能化まで一括で取り扱う独自のリサイクルシステムを有しており、多くの大手企業や官公庁との取引基盤を構築している。また、昨今はSDGsへの取り組みとしてリサイクルが注目されており、継続的に成長している



- ・主に業務用の美容脱毛機器、痩身機、家庭用脱毛機器を製造/販売しており、深い顧客理解に基づく競合優位性を有した製品力と他社には無い自前の集客チームによってシェアを拡大している



- ・患者優先の医療を目指して、国際医学交流と教育を支えるための収益事業を営む法人として1990年に設立
- ・設立以来、24時間電話医療相談サービスや被保険者が海外で受けた治療内容を確認する海外保険調査サービス等を順次提供し、2006年からは健康食品/サプリメントの販売を開始。国内大手ドラッグストアを中心に販売され、中国においても高い知名度とブランド力を誇る

*本スライドでは、公表可能な案件のみを開示しております

ポートフォリオ



- 1997年創業のアパレルを中心とした海外ブランドや国内ブランドの販売代行業務を担う企業
- 特に海外ブランドが地理的ナレッジを有さない地方部のアウトレットモール出店において強みを有し、創業以来業界を牽引する企業として高いシェアを占める。また、昨今はアパレル以外のコスメ/スイーツ系の販売代行業務の請負も開始し、継続的に成長している



- 1913年に創業し、主に東日本エリアを中心として、公共/民間土木工事の現場で使用される土木建築用資機材の販売・施工や工場で使用される産業資機材の販売を担う商社
- 幅広い商品ラインナップと高い営業力によりゼネコン等からの信頼を集め、東日本エリアにおいて高いシェアを確立。防災・災害対応の観点でインフラ基盤を支えるという重要な役割を担う



- 「八百心」「ビバーチェ」の屋号にて、首都圏近郊の生鮮食品スーパーマーケットやディスカウントストア内を中心に約30店舗を展開する青果物販売のコンセッショナリー・チェーン



- 大手オンラインショッピングモールにて、MURA ブランドを冠した財布・バッグなどの革小物製品を企画・販売している D2C 企業



- 「amie」ブランドのヘアサロンを中心に、首都圏近郊にて直営店約50店舗を展開する業務委託型の美容室チェーン



- 渋谷発の祖業ブランドである VANQUISH、原宿の旗艦店を発信拠点として、写真によるSNS コミュニケーション時代を象徴するストリートファッションブランドである #FR2 などの複数ブランドを展開するファッションアパレル企業

*本スライドでは、公表可能な案件のみを開示しております

2. Appendix : 参考資料

会社概要

会社名	株式会社プロレド・パートナーズ Prored Partners CO.,LTD.
証券コード	7034 (東証プライム市場)
代表取締役	佐谷 進
創業	2009年12月 (設立 2008年4月)
決算期	10月
事業内容	経営コンサルティング、環境コンサルティング、PEファンド
従業員数	174名 (2024年4月30日現在)
本社所在地	東京都港区芝公園1丁目1-1 住友不動産御成門タワー7階
グループ会社	株式会社ナレッジリーン、株式会社ブルパス・キャピタル (PEファンド)

連結貸借対照表

(単位：百万円)	連結累計		
	2023年10月期 実績	2024年10月期 2Q 実績	増減率 (%)
総資産	11,978	13,227	10.4%
流動資産	6,172	6,712	8.7%
うち現金・預金	5,404	6,156	13.9%
固定資産	5,805	6,515	12.2%
負債	1,911	1,868	-2.2%
流動負債	920	949	3.2%
固定負債	991	918	-7.3%
純資産	10,066	11,359	12.8%
株主資本	6,047	6,541	8.2%
非支配株主持分	4,019	4,817	19.9%

本資料の取り扱いについて

- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものであり、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は様々な要因により、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料には、監査法人による監査を受けていない過去の財務諸表または計算書類に基づかない管理数値が含まれています。
- 本資料の日付以降の事象および状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新または改訂する予定はありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、合理性等について当社は独自の検証を行っておらず、またこれを保証するものではありません。



Prored Partners

プロフェッショナル Pro + red 情 熱 の 赤